令和８年度　第１回可児市子ども・子育て会議　概要録

◇日　時	令和８年９月28日（月）　13時30分～15時45分			
◇場　所	子育て健康プラザ マーノ ２階　研修会議室			
◇出席者	工藤　英美	委員	山口　由美子	委員
	本間　優希	委員	堀井　みゆき	委員
	池田　薫	委員	古山　尚子	委員
	松井　慶子	委員	荻野　淑	委員
	各務　眞弓	委員	長尾　まゆみ	委員
	谷口　新二	委員	佐伯　義夫	委員
◇事務局	大杉　美穂	（こども健康部長）		
	野尻　康宏	（子育て支援課長）		
	渡邊　真史	（子育て支援課　子育て政策係長）		
	千束　綾子	（子育て支援課　子育て政策係）		
◇関係部局	渡辺　博生	（保育課長）		
	肥田　尚幸	（健康増進課長）		
	森川　賢彦	（子育て支援課　子育て応援係長）		
	渡邉　雄一朗	（子育て支援課　家庭相談係長）		
	福田　真弓	（保育課　学童保育係長）		
	草野　亜紀彦	（保育課　保育園・幼稚園係長）		
	木村　裕子	（健康増進課　母子保健係長）		

〇議事

報告第１号　令和７年度　各種事業等の報告について

令和７年度に実施された子育て支援に係る各事業について報告するもの。

（１）各課の事業等

保育課保育園・幼稚園係の事業【資料１】

（資料に基づき担当課より説明。）

（委員）令和8年度から始まったこども誰でも通園制度の課題や今後改善すべき点はどのようなものがあるか。

（保育課）定員13名に対し、一日の利用者数が2.4名程度であるため、制度の周知、広報が課題と考えている。また、利用者からの相談に応じる体制整備も必要であると考えている。

（委員）保育士は足りているということでよかったか。

（保育課）足りていると考えている。

（委員）支援活動を行う中で、保育園についての情報を知らないという相談者がいた。保育園の入園に係る情報提供をもっと行うべきではないか。

（保育課）相談があれば随時対応はしている。また、毎年絆る～むで希望者を集めた説明会が開催されるので、そこで概要の説明を行っている。

（子育て支援課）毎月子育て情報誌を発行し、園庭開放の情報など、相談窓口の周知は行っており、今後も

事前PRに力を入れていく。

保育課学童保育係の事業【資料2】

（資料に基づき担当課より説明。）

（委員）利用者が年々増加傾向にあるとのことだが、それに対し、指導員は足りているのか。

（保育課）現在のところは充足している。最近の傾向として、発達に特性があり支援が必要な利用者が増えてきており、加配が必要となることもある。その場合はシルバー人材センターに補助員の派遣を依頼し対応することでスタッフを充足させている。

健康増進課母子保健係の事業【資料3】

（資料に基づき担当課より説明。）

（委員）産後の身体の回復への不安、育児不安がある方が多いとのことだが、原因としては何が考えられるか。

（健康増進課）ホルモンバランスの変化等、体調の変化や、睡眠不足といった母体の健康状態が影響している場合、また、里帰りやパートナーの育児休暇がかなわず、ワンオペで育児をすることにより心身ともに負担がかかる場合がある。

（委員）宿泊型の産後ケアは利用に条件はあるか。

（健康増進課）家族のサポートの有無等の条件はなく、希望すれば利用できる。令和7年度から対象の医療機関が増えたこともあり、希望者が利用できないということはなかった。今後のニーズの増加も注視していく。

子育て支援課家庭相談係の事業【資料4】

（資料に基づき担当課より説明。）

（委員）児童虐待の対応、DV 等の困難な問題を抱え支援が必要な女性の支援を行っているとのことだが、そういった問題を予防するためにも、母子の関係、親子関係の構築に支援が必要ではないか。

（子育て支援課）先述の母子保健事業や親子関係形成支援事業のほか、家庭教育の推進等、幼少期からの親子の関わりを考えていただける機会を作る取り組みをこれからも推進していく。

子育て支援課子育て応援係の事業【資料5】

（資料に基づき担当課より説明。）

（委員）不登校支援室の取組の中で、登校渋りや不登校に悩む保護者への相談対応も大事だが、登校への道筋以外にも、本人の特技が見つかる、生かせるなどの道があれば、本人のこの先の人生において有益だと思う。こういった取り組みにも力を入れていただきたい。

（子育て支援課）不登校に悩む保護者の支援が主な取組ではあるが、お子さん本人の相談に応じることもある。本人の思いが保護者の思いと違っていたり、保護者に言えない場合もあるので、本人の思いを尊重し、対応を行っている。

（委員）現在の可児市の小中学校の不登校児童数がわかれば教えてほしい。

（子育て支援課）教育委員会から公表されている統計データはおそらく無い。不登校児童数は時々刻々と変化するもので、当課として把握しているデータもない。

子育て支援課子育て政策係の事業【資料6】

（資料に基づき担当課より説明。）
（委員）マーノに来館すると、夕方から夜にかけて多くの高校生を見かける。様々な世代にとっての居場所となっていることを実感している。
（子育て支援課）立地特性によるものと思われる。今後もその特性を生かし運営を進めていく。

その他意見、質問
（委員）高校生の意見が反映されるのは良い点だが、小さな親子連れや小中学生の声も拾う努力が必要ではないか。
（子育て支援課）今年度、小学生の利用が多い夏休みに小学生対象のイベントを実施し、その中で意見を聴くようにした。また絆る～むでQRコードを活用した利用者アンケートを実施しているなど、各施設の対象年齢ごとに意見を聴く取組を行っている。
（委員）今年度から重層的支援の担当部署が発足したことにより、今までと違ってできるようになったことなどはあるか。
（子育て支援課）今年度、福祉、高齢、障がいと、複数分野にまたがる困難を抱えた案件について、重層支援の担当部署にアドバイスを求め、ケース検討を行った。これまで制度のはざまでどこも関りが持ちづらかったケースも、中長期的にかかわりを持ち、かつ全体的なコーディネート、ファシリテートができるようになっていくと思われる。
（委員）遊具の点検や植物の管理について。
（子育て支援課）児童館の遊具に関しては、指定管理が年1回、遊具メーカーによる点検を実施している。植物については年1回市職員が目視による点検を行っている。
（保育課）保育園幼稚園の遊具及び樹木も同様の点検を行っている。

（２）量の見込みと確保の内容に関する実績【資料７】
令和７年度　教育・保育事業の実績について
（資料に基づき担当課より説明。）
（意見、質問なし）